



# 新しい「昭和五つ星学園」は、こんな学校です！

学校教育目標：友 地域 未来とつながり 考え、表現・行動する子どもの育成  
めざす子ども像：切り拓く子ども

## 山の中の環境留学

豊かな自然環境をはじめとした地域の教育資源を活用し、自然と直接触れながら、子どもが自ら課題を見つけ、答えを探っていく学習を行います。

12年間を通して、地域の人と交流し、地域社会にどのように貢献できるのかを考え、実践します。



自然の中での体験活動や、植樹などの環境保全活動を行います。



名誉校長 野口 健 (アルピニスト)

総社市環境観光大使でもある、アルピニストの野口健氏が名誉校長を務めます。

豊かな自然の中で活動することで、新しいことに挑戦する心を持った人材を育てます。

## 「使える英語」のための英語教育

これまで取り組んできた「英語特区」を継承し、12年間で充実した英語教育を実施します。

幼稚園から外国人と触れ合う機会を設け、英語の授業は通常の小中学校よりも多い時間数を設定します。早いうちから生きた英語に触れることで、「使える英語」が身に着きます。



外国人の指導助手を専任配置しており、幼稚園から生きた英語を学ぶことができます。



外国の姉妹校と定期的に交流活動を行います。



英語特区スーパーバイザー 木村 松雄 (青山学院大学名誉教授)

平成26年から「英語特区」の英語教育の内容を監修しています。ICTと連動した最新の英語教育法を駆使し、実際にコミュニケーションできる英語力を育てます。

## 12年間の一貫教育

幼稚園3年間と義務教育学校9年間の12年間、1つの学園で学びます。幼稚園が義務教育学校と一緒に活動したり、異学年で一緒に交流する機会を設けることで、思いやりの心を育み、コミュニケーション能力や、他者と協力して物事を進める能力を育てます。



## 新施設！交流活動ルーム

地域に向けて学習成果を発表したり、異学年と交流するための部屋を新設します。



6-9フロンティアキャンパスにプレゼンテーションルームを設けます。地域の人などに学習の成果を発表します。



1-5アクティブキャンパス内に幼稚園児の教室を設けます。電子黒板やタブレット端末を使用したり、義務教育学校の子どもや先生と交流したりします。

## 〇、義務教育学校って、なんだろう？

小学校と中学校の合計9年間で1つの学校で学べる、新しいタイプの学校です。本学園では、幼稚園を併設し、12年間を見通した教育を行います。また、6年生から、中学生と同様の授業の形（教科担任制・授業時間50分）がスタートします。

通常の学校の学年	幼稚園3～5歳児	小学校1年生～6年生	中学校1年生～3年生
義務教育学校の学年	幼稚園3～5歳児	義務教育学校1年生～9年生	
通うキャンパス	幼稚園さくらキャンパス (現昭和幼稚園園舎)	1-5アクティブキャンパス (現昭和小学校校舎)	6-9フロンティアキャンパス (現昭和中学校校舎)



まだまだあった、学園の魅力！



## 部活動も頑張ります！

令和5年度から、総社中学校と合同での部活動を開始しています。1つのチームとして切磋琢磨する大切な仲間です。

6年生は、部活動体験として、平日に月1回程度、上級生と一緒に活動します。

## あそびのきち おひさま

学校・幼稚園の授業時間外や夏休みなど長期休業中に、朝7時から最長19時まで、お子様を預けることができる放課後児童クラブ・認可外保育施設です。

1歳児～6年生が対象です。

